

第3期科学技術基本計画は何を目指すのか

メリハリをつけて投資し、資金の有効利用を徹底する

戦略的重点化の強化

- 多様な知と革新をもたらす基礎研究を推進
- 課題解決に貢献の大きい重点4分野（ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料）も、きめ細かく重点化。

「安全と安心」への科学技術の貢献を高める。

「国の発展の基幹としての科学技術」についても、選択と集中を基本として、今後、更に掘り下げた検討を行う。

第3期科学技術基本計画は何を目指すのか

研究者がいきいきと研究し、新しい発想が次々と生まれる

競争的研究環境の醸成

- 競争的研究資金の拡充と制度改革
- 競争的資金と基盤的資金の適切なバランス

科学技術システム改革の推進

- 評価システムの改革、大学改革等の更なる進展
- 産学官連携の推進、地域科学技術の振興
- 科学技術基盤整備、知的財産による知的創造サイクル等

第3期科学技術基本計画は何を目指すのか

将来を支える人材を大切にする

検討の基本姿勢： 「モノから人へ」
「機関における個人の重視」

科学技術を担う人材の育成・活躍の促進

- 世界的に活躍する研究者・技術者の育成・確保
- 若手研究者が能力発揮できる環境づくり
- 女性研究者の育成、活躍できる環境づくり
- 外国人研究者の受入れの促進
- 技術経営人材、ものづくり人材などの育成・確保
- 子どもの夢を育み、力を伸ばす環境づくり 等

例えば、若手人材をどのように育成し、能力を発揮させていくか

若手研究者が備えておくべき 素養・能力への指摘

若手研究者の能力に対する評価
(1355名の研究者アンケート結果)

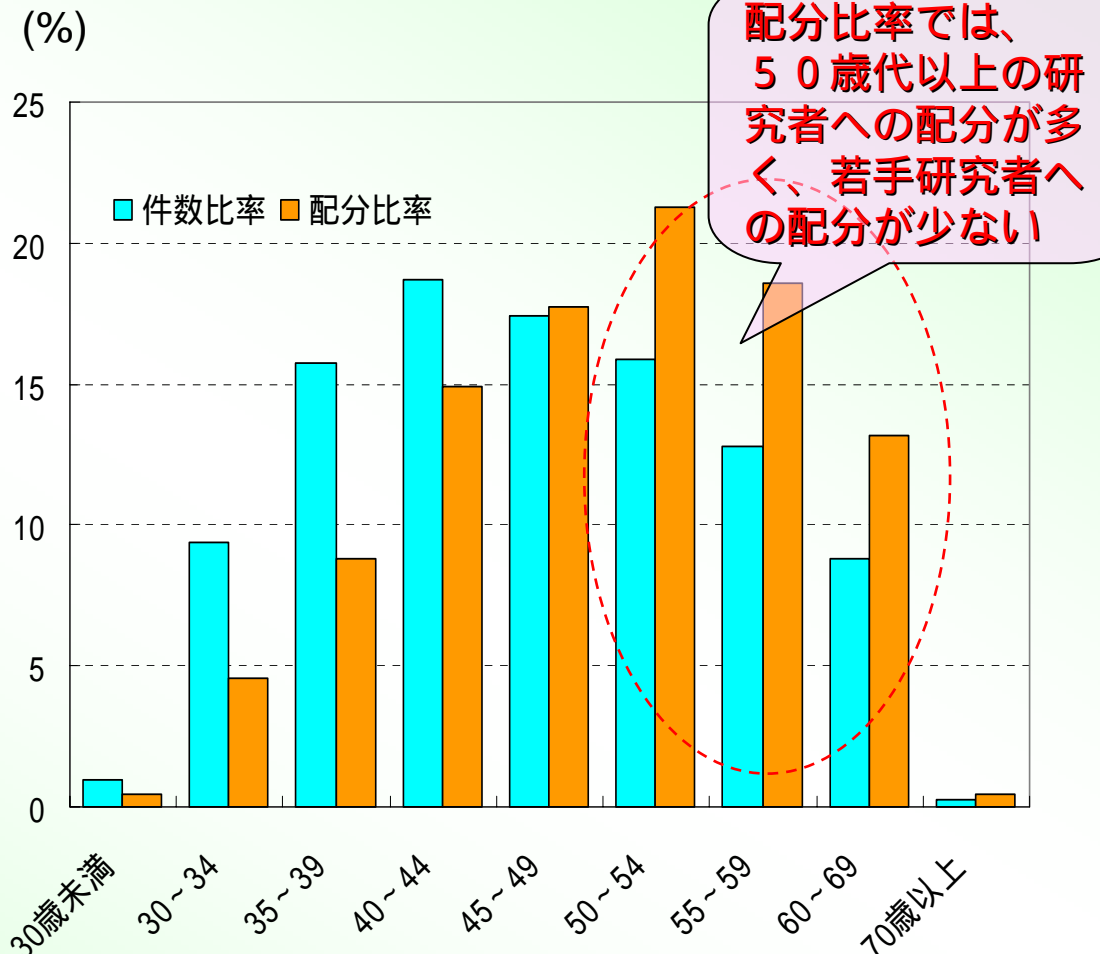
充足している ・ 専門分野の知識

過不足無し ・ 探求心
・ 課題解決力

不足している ・ 課題設定能力
・ 創造性

(出典: 科学技術政策研究所 「科学技術指標(2004年度版)」)

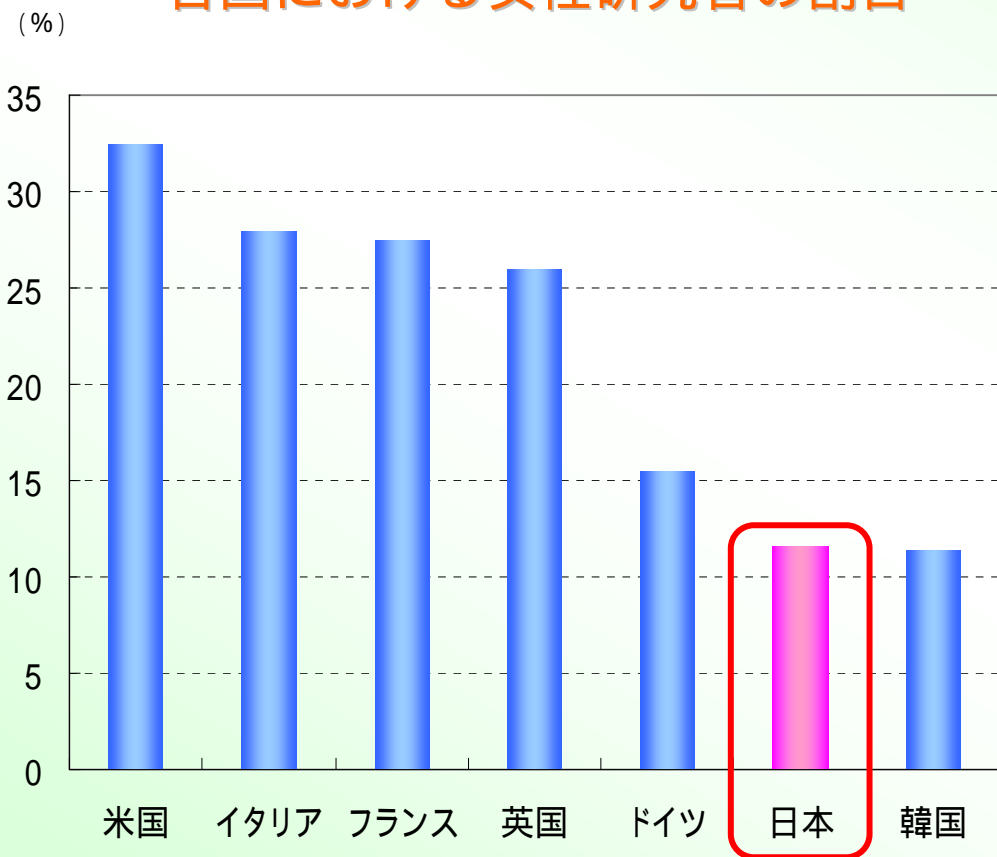
競争的研究資金の 研究代表者年代別配分状況(2002年)



(出典: 内閣府 「競争的研究資金の制度改革(2003年)」)

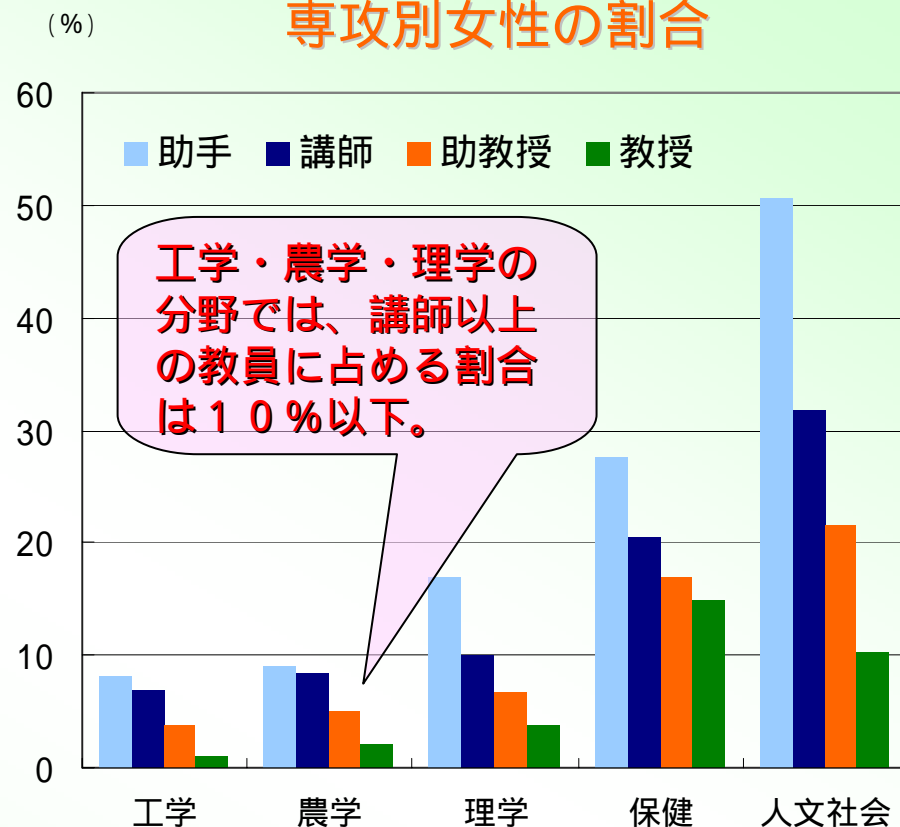
例えば、我が国の女性研究者の割合が国際的にみて際だって低い状況を、どのように是正していくべきか

各国における女性研究者の割合



日本、韓国は2003年、イタリア、フランス、英国、ドイツは2000年、米国は1999年。
米国の数値は、「Science & Engineering Indicator 2004」においてScientistとして分類されたもの
(総務省統計、NSF統計、OECD統計、EC統計から内閣府作成)

我が国の大学教員における専攻別女性の割合



(出典: 文部科学省、学校基本調査(2004年))

第3期科学技術基本計画は何を目指すのか

長期的視点に立ち、日本の未来を創るための、5ヵ年計画

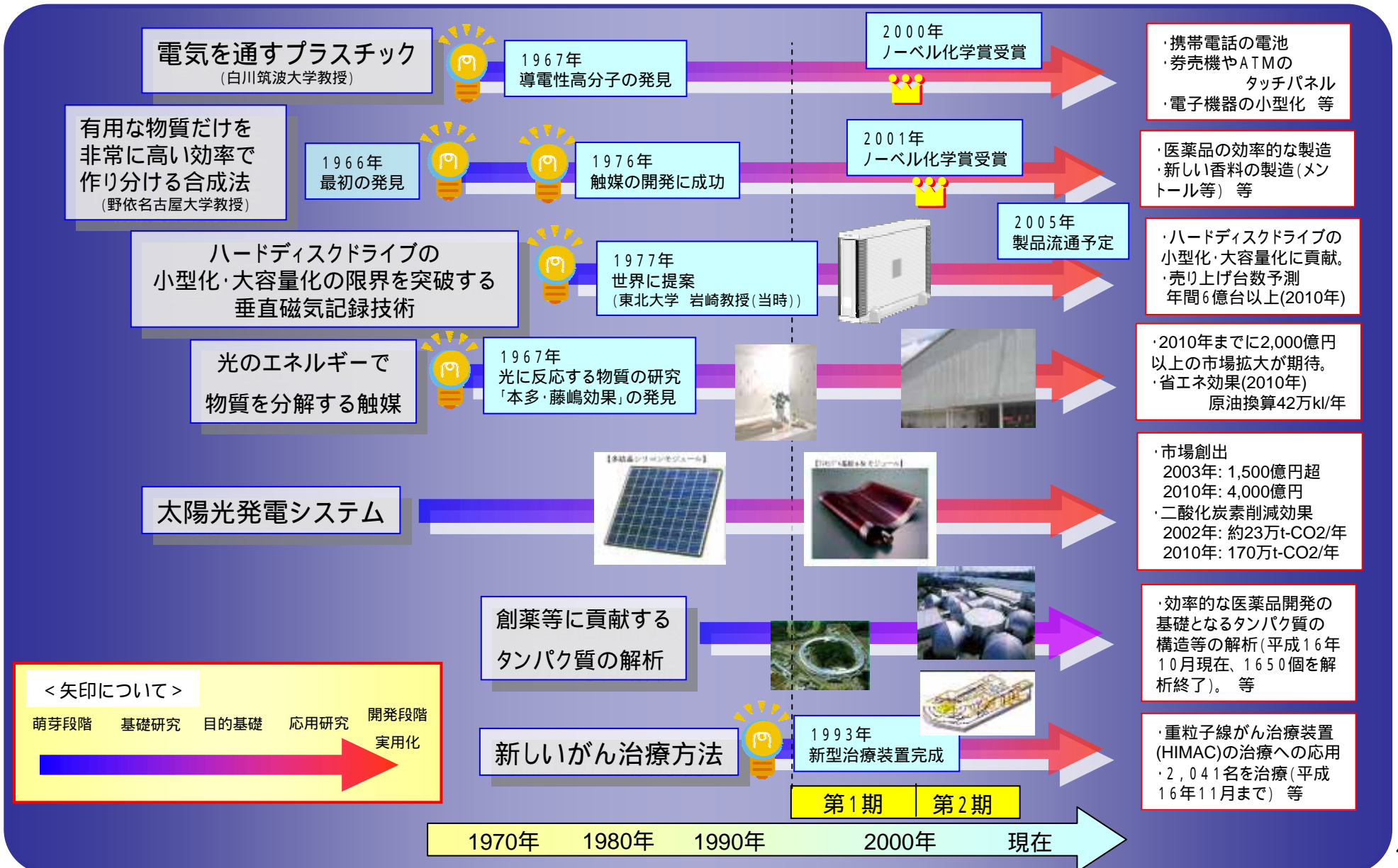
総合科学技術会議の機能の充実・強化

各省の縦割弊害の排除、政府投資の一層効果的な活用、国民への説明責任の強化、戦略的国際活動等のため、司令塔としての機能の充実・強化が必要

第3期計画の政府研究投資目標の検討

政府研究開発投資額の目標及び科学技術成果に関する目標については、第1期・第2期計画における実績、諸外国の動向、第3期計画における施策内容等を踏まえ検討

小さな芽を長期間育て、産業化などに開花した例が現れている これをいかに続け、広げていくか

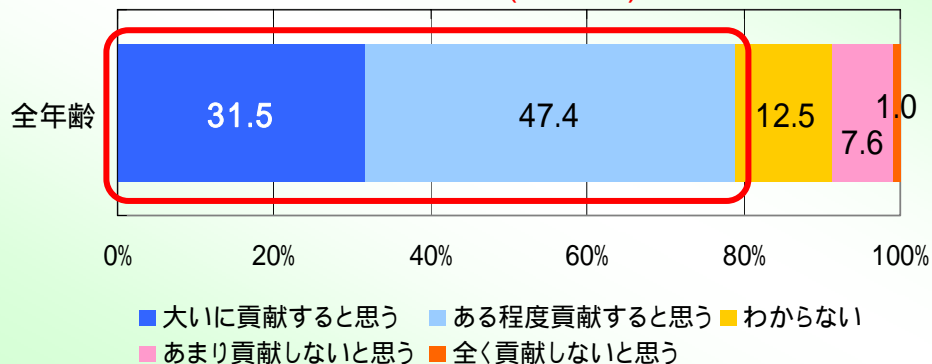


科学技術は国民の期待にどのように応えていくべきか？

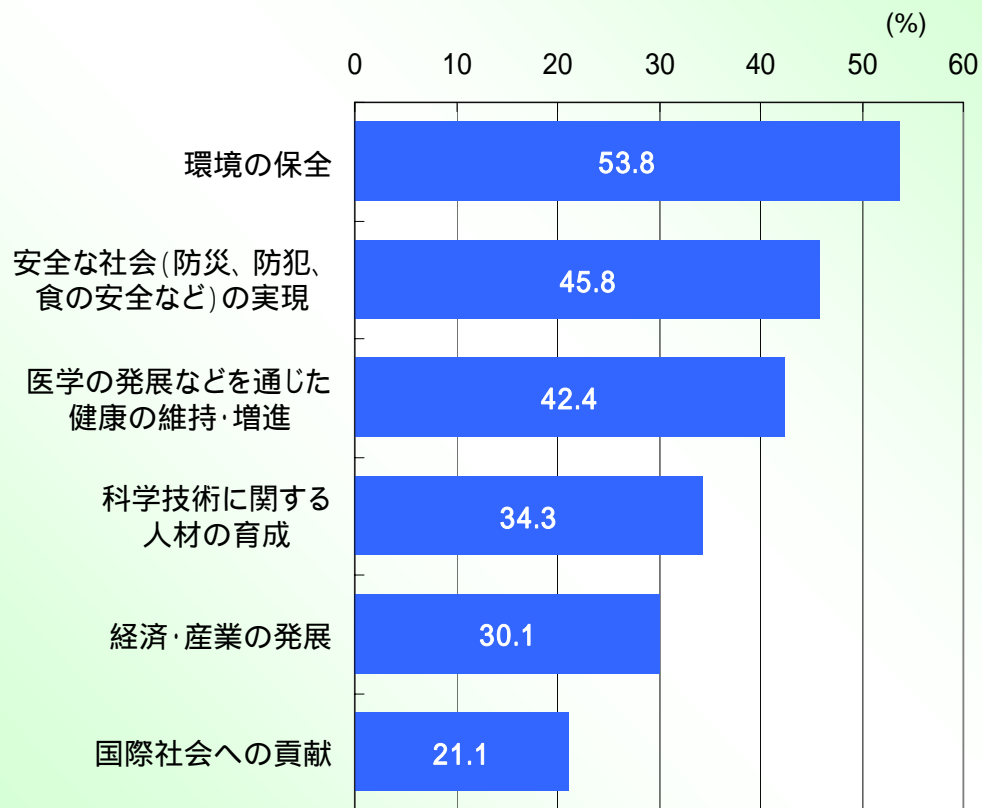
～最新の内閣府世論調査の結果より（「科学技術に関する特別世論調査」、平成17年5月実施）

将来の発展に科学技術は貢献するか？

貢献すると思う(78.9%)

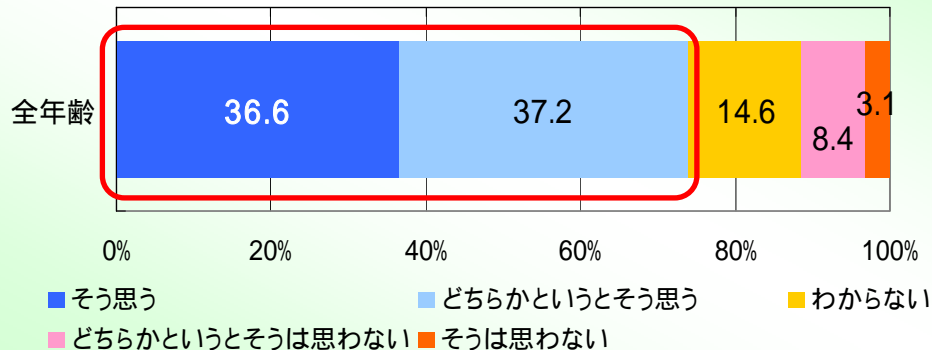


科学技術への支援にあたり重視すべき点(上位6位まで)



科学技術に対する政府の財政的支援を充実すべきか？

充実すべきだと思う(73.8%)



～ 今後の検討 ～

基本政策専門調査会で引き続き検討

分野別の重要領域などを更に掘り下げ

年末を目途に、検討をとりまとめ